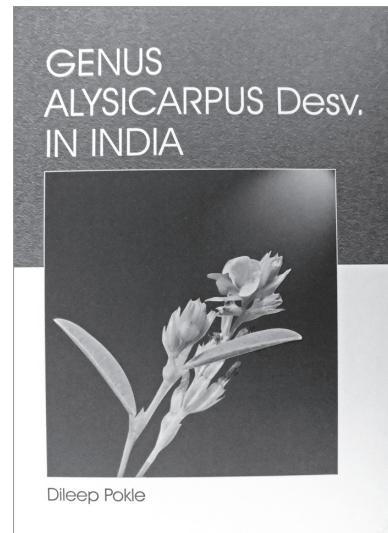


□Dileep Pokle. March 2017. **Genus *Alysicarpus***

**Desv. in India.** MGM College of Agricultural Biotechnology, Aurangabad, India. Printwell International Pvt. Ltd. (E-mail: printwel@gmail.com <http://www.printwell.co.in>). A5版. x + 162 pp. ISBN 978-93-5220-164-8. Rs 890, US\$ 50.

本書はインド産 *Alysicarpus* のモノグラフで、分子系統学的解析を含まない手法でまとめてい。 *Alysicarpus* はマメ科ヌスピトハギ連のササハギ属で、和名は小葉の形がササの葉に似ているために名付けられた。 *Alysicarpus* は明確な独立属であり、旧世界に約30種あり、熱帯・亜熱帯に分布し、インド、南アフリカ、オーストラリアに固有種が多い。特にササハギ *A. vaginalis* とフシナシササハギ *A. ovalifolius* とは世界に広く分布し、熱帯アメリカにまで帰化している。各地のフロラで地域毎の種は取り上げられてきたが、世界的なモノグラフは作られていない。インドには種数も多く、分類が不完全であったが、これを長年研究してきた Pokle 博士が本書をやっとまとめてくれた。A5版の小冊子ながら、カラー写真と図が多く、内容は充実している。インドはもとよりヒマラヤ、東南アジア、中国産の *Alysicarpus* の同定に役立つと思う。第2章 Characters では形態学的ではなく種皮構造、spermoderm pattern、気孔、pollination などが採り上げられている。50ページにわたり丹念に観察・記録されている。第3、4、5章は分類の部分で、本書の中心であり、インドに17種9変種を認めている。検索表と詳しい記載、



タイプ、引用標本があり、各種について生品に基づく葉と花序をつけた植物体上部、花とその構成部分、果実の写真あるいは線画がつけられていて、よく整理されている。写真あるいは図は同定の際に非常に役立ちそうである。第6章は分子系統解析を使わずに、インド産種の進化と系統関係を類推している。Ohashi et al. (2018) の分子系統解析 (本誌 93(3): 165–189) に用いられた種と同じ種についての著者の系統関係の類推結果をみると、両方の結果は矛盾していない。小型本で、製本はしっかりしており、細かいミスが文献引用などで散見されるが、本書の価値を損なうものではない。

(大橋広好 H. OHASHI)

### 93巻2,3号 正誤 (2018年)

号 (Number)	ページ (Page)	カラム (Column)	行 (Line)	誤 (For)
2	109	right	↓ 16	var. <i>dimorphum</i>
3	158	Fig. 3	cap. ↓ 1	<i>Sohmaea hirsuta</i>
3	158	Fig. 3	cap. ↓ 2–3	<i>D. hirsutum</i>

### Errata in Vol. 93 No. 2, 3 (2018)

正 (Read)
var. <i>dimorphum</i>
<i>Sohmaea hirsuta</i>
<i>D. hirsutum</i>